

LIXIL

これからの
リフォームは、

かしこい
住み替えの
新提案！



家一棟まるごと
断熱です。

新築・建替え・リフォームを計画中の方に

住み替えスタイルの 新提案。

日本の家の平均寿命は、およそ30年といわれています。

愛着ある家をメンテナンスしながら60年以上も住み続ける

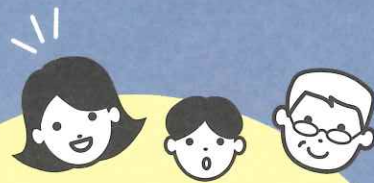
欧米と比べると、何だかもったいないような気がします。

新築も、建替えも、リフォームも、これまでの当たり前を見直して、
新しい住み替えを考えてみてはいかがでしょうか。



新築？建替え？

その前に
チェック！



人生100年時代
これからの
住まいのこと
よく考えましょう

高性能
新築・建替え

ひとクラス上の建築費
快適・健康・省エネは◎

スタンダードな
新築・建替え

経済的にマイホーム
一般的な住宅性能

新しい
選択肢！
高性能
まるごと断熱
リフォーム

家を活かしてコスト削減
快適・健康・省エネも◎

まるごと断熱リフォームは

新築・建替え・ リフォームのいいとこどり。 住み替えスタイルの 新しい提案です。

必要な
リフォームの
組み合わせが
可能

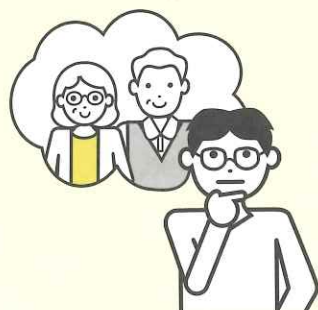


※詳しくは
P.23をご覧ください。

まるごと断熱リフォームで、今ある住宅を新築レベルの高性能化。さらに、住宅の経年劣化の状況やライフスタイルに合わせ、適切なリフォームを組み合わせることで、暮らしに最適な住まいづくりが行えます。

☒ リフォームを検討している方の場合

実家をリフォームして
両親との同居を計画。
特に「冬寒く、夏暑い」を
改善したい。



中古住宅を買って
素敵にリノベしたいが、
古いので、断熱や耐震に
不安がある。



テレワークなど、
おうち時間が増え、
もっと快適に暮らせる
ようにしたい。





新築・建替えを検討している方の場合

快適な高性能住宅に建て替えたい。
でも、予算オーバーが心配。

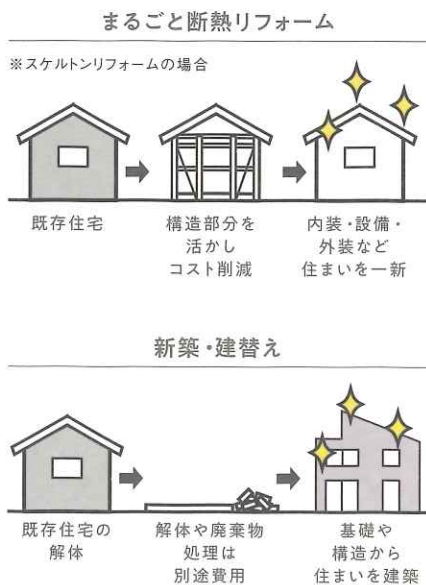
スタンダードな住宅での新築、
建売住宅の購入を考えているが
家の性能はよくわからない。



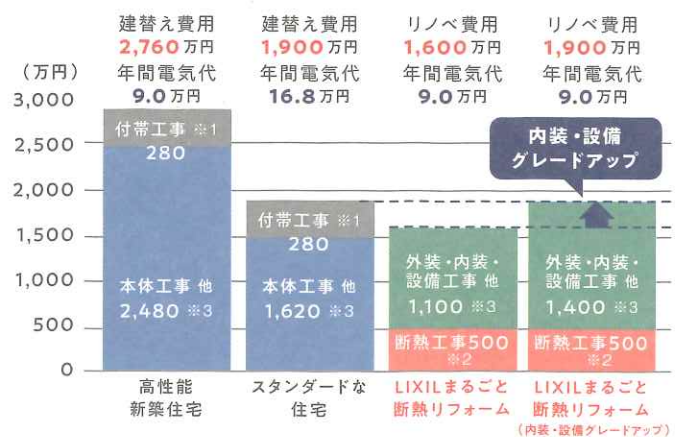
既存住宅を活かすと、住まいづくりが、こんなにおトクに。

まるごと断熱リフォームによる住まいのリニューアルは、既存住宅を活かす工法のため、
新築や建替えに比べ建築コストを抑えることが可能です。
その工程と建築費の違いを比較してみましょう。

●住まいづくりの工程比較



●まるごと断熱リフォームによるリノベーションと建替えとの建築コスト比較の一例



【試算条件】住宅仕様：自立循環型住宅モデルプラン(2階建て延床面積36坪) 高性能住宅及びまるごと断熱リフォーム：HEAT20 G2レベル/スタンダードな住宅：平成4年省エネ基準レベルの断熱性能/省エネ地域区分：6地域

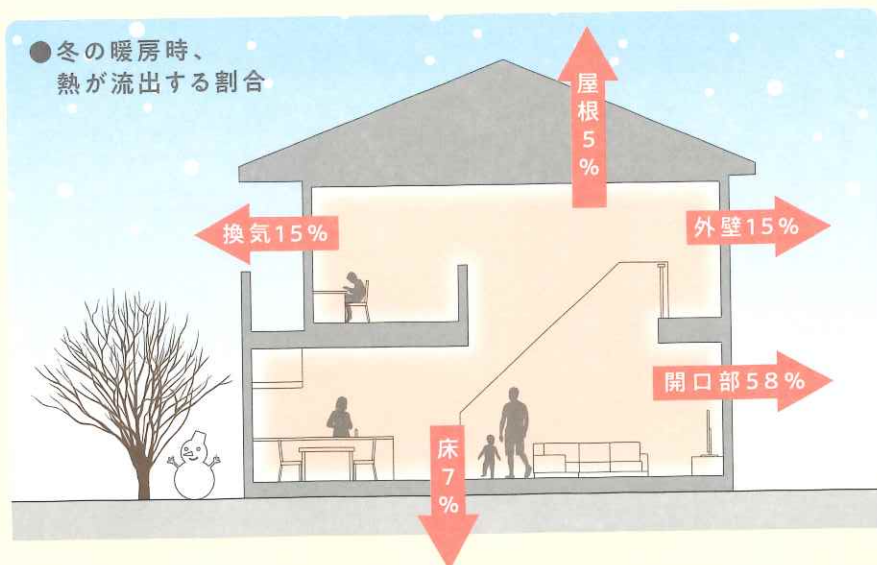
リフォームで

高性能住宅の 暮らし心地をかなえる 先進の断熱 リフォームです。

まるごと断熱リフォームは、今ある住まいを、一棟まるごと断熱改修することで高性能住宅化できる先進の工法です。

すぐれた性能の断熱材により、壁・天井・床をしっかりと覆い、高断熱の窓や玄関ドアに交換。外気温の影響が少なく、快適・健康・省エネを実感できる暮らしをご提案いたします。

☑ 一棟まるごとの断熱リフォームに こだわる理由とは？



熱は温度の高い所から低い所へ移動します。住宅においても、冬場で例えると開口部、外壁、床、屋根、換気など、あらゆるところから熱が外へ逃げていきます。室内の快適な温度を保つためには、部分的な断熱では十分ではなく、家一棟まるごとの断熱対策が重要となるのです。

出典：(一社)日本建材・住宅設備産業協会省エネルギー建材普及促進センター
「省エネ建材で、快適な家、健康な家」より

壁断熱

高性能
断熱リフォーム
パネル

開口部断熱

高断熱
樹脂サッシ
玄関ドア

家一棟を
まるごと
断熱

天井断熱

吹込み用
グラスウール

ヒートショックの
予防に

部屋間の温度差が少ない

計画換気

熱交換型換気

結露やカビ・ダニの
心配が少ない

家中、足元まで
あたたかい

上下の温度差が少ない

健康改善の効果が
期待できる

床断熱

吹付け
硬質ウレタン
フォーム

快適

健康

省エネ

人生100年時代に向けて、これからの住まいは家のポテンシャルを高めることが大切です。特に断熱性能の向上は、快適・健康・省エネに効果を発揮し、年を重ねるごとに大きな価値となります。



まるで魔法瓶
みたいに温度を
逃さないから
あったかいんだね

まるごと断熱だから

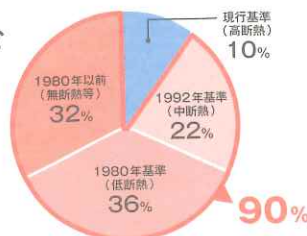
冬も夏も、家のどこにいても 快適に過ごせます。

まるごと断熱リフォーム後の快適性は、築年数の経った住宅と比べてどれくらい違うのでしょうか。
例えば冬の足元までおよぶ暖かさは、部屋のサーモグラフや温度データによって比較できます。
また、冬も夏も、冷暖房が効いた部屋だけではなく、家中の温度差が少ないため、
どこにいても快適に過ごせます。



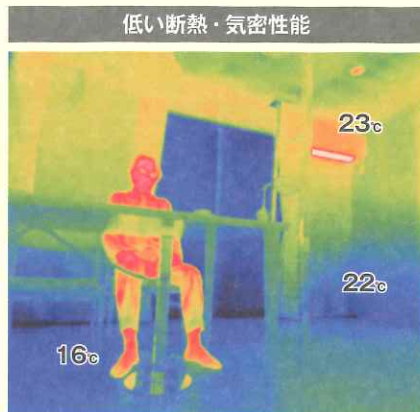
高断熱リフォームは、すぐれた性能をもつ断熱材により、壁・天井・床をしっかり覆い、高断熱の窓や玄関ドアに交換。外気温の影響が少なく、冬は暖かく、夏は涼しく過ごすことができます。

実は、日本の家の90%が
寒さ・暑さをガマン
している断熱性能の
足りない住宅です。



※出展：国土交通省 2019年社会資本整備審議会資料より作成

住宅の省エネ基準は、時代とともに進化していますが、現行の基準を満たしていない日本の家は全体の90%を占めています。その多くが、寒さ・暑さをガマンしている断熱性能の足りない住宅といえます。これは、健康を維持する意味においても改善すべき問題です。



〔断熱リフォーム前〕昭和55年基準



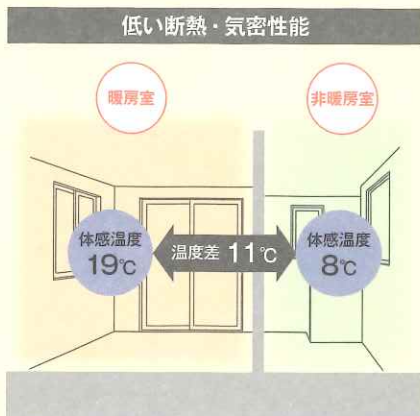
〔断熱リフォーム後〕HEAT20 G2グレード

足元まで空間全体が暖かく、冷え性の方にもやさしく。

高断熱リフォームによって断熱性能を高めることで、部屋の上下の温度差がわずかに。暖房は効いているのに足元が寒い・冷える、といった暮らしの悩みも解消されます。

外気温0℃ 暖房設定温度20℃

※掲載データは、実験施設にて測定した値であり、保証値ではありません。住宅の仕様、生活スタイル、気象条件等により異なる場合があります。



〔断熱リフォーム前〕昭和55年基準



〔断熱リフォーム後〕HEAT20 G2グレード

部屋間の温度差が少なく、ヒートショックのリスクを低減。

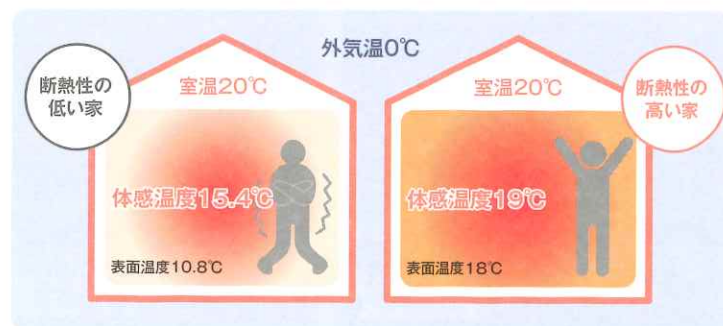
家全体の断熱性能を高めると、部屋間の温度差も少なくなり、冬場のヒートショックのリスクを低減。入浴時の脱衣室やトイレで「ぶるっと震える」といった寒さも解消されます。

外気温0℃ 暖房設定温度20℃

※掲載データは、実験施設にて測定した値であり、保証値ではありません。住宅の仕様、生活スタイル、気象条件等により異なる場合があります。

断熱性能を高めると、体感温度が暖かく。

人のカラダは空気温度だけではなく、床・壁・天井面からの輻射熱も感じとります。部屋の温度計が20℃でも、断熱性能の高い家では体感温度が19℃、断熱性能の低い家では15.4℃。断熱性能によって、大きな体感温度の差が表れます。



出典：(財)建築環境・省エネルギー機構 住宅の省エネルギー基準の解説

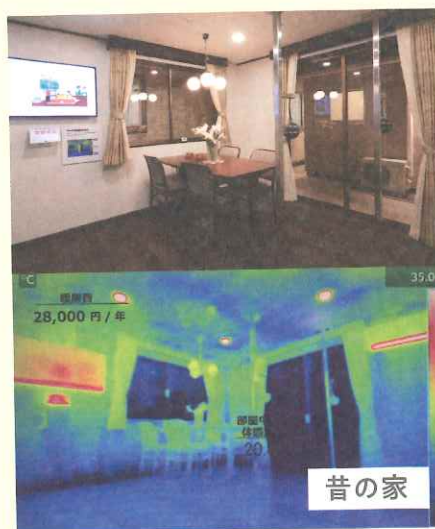
見て・触れて・比較

快適性の違いを住まいStudioで体感してみませんか。

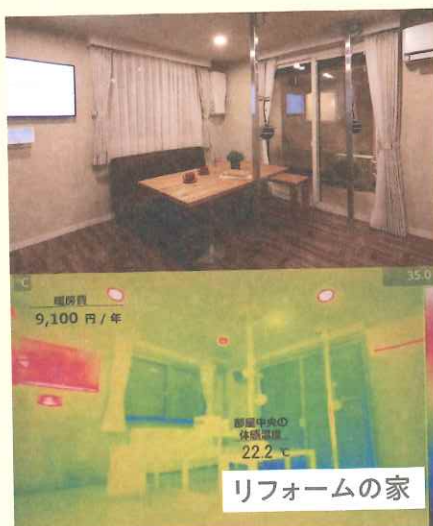


住まいStudioとは？

住宅の断熱性による冬の室内温度の感じ方、夏の強烈な日差しの対処法など、一年を通じて快適に暮らすために必要なことを学んでいただける「体感型ショールーム」です。

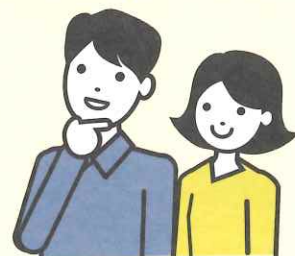


昔の家



リフォームの家

住まいの
断熱でこんなに
快適性が
変わるんだね



「昔の家」「リフォームの家」といった断熱性・気密性が異なる家で、その温度の違いについてサーモグラフィを見ながら手や足で触れながら体感できます。

断熱リフォームについても学べます！



断熱性能による違いを普段見ることのない壁の中や天井裏、床下の断熱材の模型やパネルを見ながら比較。
断熱リフォームをわかりやすく学ぶことができます。



断熱性の
違いが
比較すると
よくわかるね



あなたも、見て・触れて・比較。
ほんとうの快適を体感してみませんか？

LIXIL 快適暮らし体験

住まいStudio 

住まいStudio東京／住まいStudio大阪

https://www.lixil.co.jp/s/sumai_studio/

詳しくは
こちらから



家にいながら体感できる
オンラインツアーも
受付中！

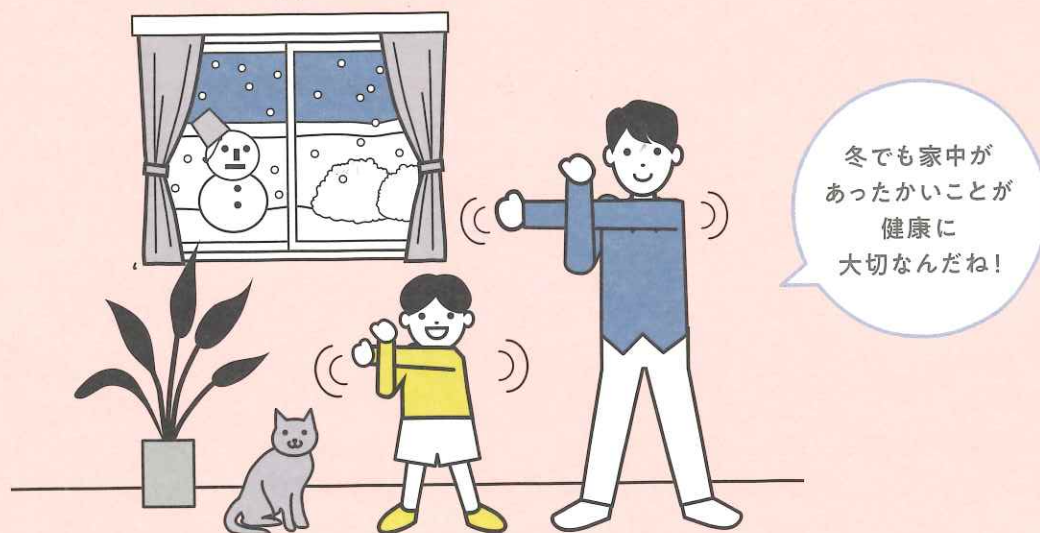


参加ご希望の方は、
担当の建築会社様にご確認ください。

断熱性で差が出る

暮らしの温度と健康は、 大きな関係があります。

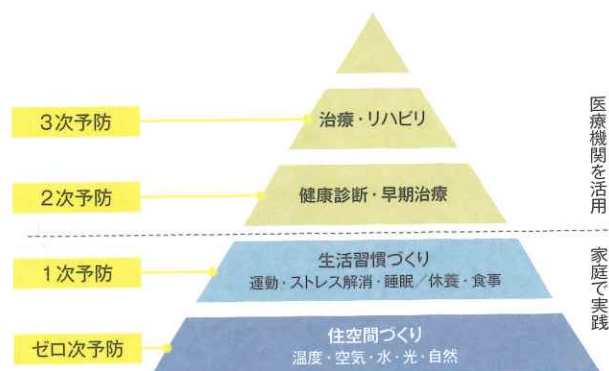
エアコンが効いた暖かい室内でも「足下が冷える」「廊下やトイレは寒い」。
このような温度差は快適性を損ねるだけではなく、健康にも影響をおよぼします。
暮らしの温度と健康との関係性は、さまざまな調査や研究で明らかになっており、
住まいの断熱性を高めた結果、家族の健康改善につながったという調査データ*もあります。



※断熱リフォームの調査データは、効果・効能を保証するものではありません。

これからは 予防医学につながる 住環境づくりが 大切です。

病気になりにくい健康なカラダづくりとその持続のことを予防医学と言います。家庭で実践するゼロ次・1次予防は、住環境に密接に関係しており、健康を考えた住環境づくりで健康寿命を伸ばすことを提唱しています。



監修：首都大学東京・星旦二
出典：星旦二 ゼロ次予防に関する試論，地域保健，vol.20-6,1989を参考に作成

健康を守るための世界的指針は
冬の室温18℃以上。



WHO（世界保健機構）は、冬の住宅の最低室内温度として18℃以上を勧告しています。また、英国保健省の冬季住宅内室温指針でも18℃を許容室温に。18℃未満で血圧上昇・循環器疾患の恐れ、16℃未満で呼吸器系疾患への抵抗力が低下するとしています。高齢者ほど室温低下による血圧の上昇が大きく注意が大切です。

ヒートショックが起こりやすい
熱めの入浴は、家の寒さも原因。



冬の入浴時に注意が必要な「ヒートショック」。ヒートショックが原因のひとつである入浴中の死亡者数は、交通事故死亡者の約5倍とも言われており、高齢者が多数を占めています。特に脱衣所の室温が低いと熱めの湯に浸かる方が多く、血圧の乱高下が発生しやすくなり、心筋梗塞や脳卒中などを起こすリスクが高まります。

英国の冬季室内温度指針



※ 2015年10月の改定で21℃の記載がなくなり、全室18℃が最低推奨温度に改定

英国保健省イングランド公衆衛生庁「イングランド防寒計画（Cold Weather Plan for England）2015.10」

室温管理は世界の常識と言われ、英国保健省では冬季室内温度の指針を発表し、住宅の断熱性向上と適切な暖房を指摘。健康・安全性の劣る住宅には改善命令を出すなどの取り組みを行っています。

熱め入浴と室温との関係



出典：断熱改修等による居住者の健康への影響調査中間報告（第3回）を参考に作成

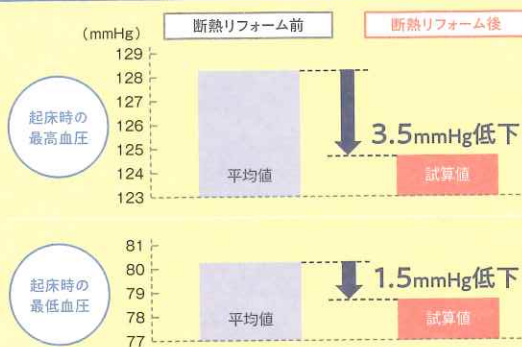
居間や脱衣所の室温が18℃未満の住宅では、入浴事故リスクが高いとされる「熱め入浴（湯温42℃以上）」が約1.8倍に増加します。また、居間は18℃以上でも脱衣所の室温が18℃未満の場合には、同様の傾向がみられます。

家の断熱性を高めることで
血圧が下がる要因に。



日本人の3人に1人は高血圧といわれている昨今、血圧が高い状態をそのままにしておくと病気の原因となるため予防が必要です。予防策としては、食生活の改善や運動が知られていますが、断熱リフォームにより家が暖くなることで、起床時の血圧が低下するという分析結果があり、室温の管理も重要といわれています。

起床時の血圧の比較



出典：断熱改修等による居住者の健康への影響調査中間報告（第3回）を参考に作成

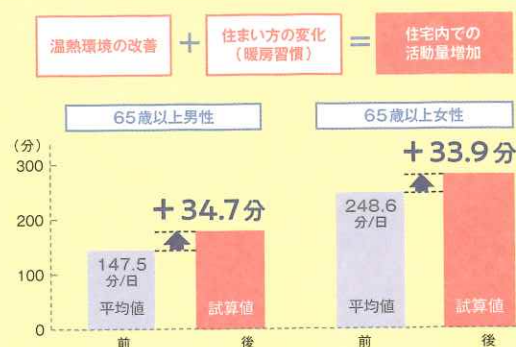
断熱リフォームの前と後における血圧の変化を分析した結果、起床時の最高血圧が3.5mmHg低下、最低血圧が1.5mmHg低下すると試算。生活習慣の改善による血圧低下の目安よりも高い効果が期待できます。

家全体が暖かいと活動が増え
健康リスクの低減にも。



寒い季節は暖房の効いた場所から動きたくなくなったり、運動不足になりがちです。厚生労働省は糖尿病・循環器疾患等の予防の観点から「今より10分多く体を動かそう」と提唱しています。断熱リフォームによって、室温の改善で家の中での活動量が増えることがわかっており、健康リスクの低減につながることが期待できます。

暖房習慣変化による活動時間の増加量（試算）



出典：断熱改修等による居住者の健康への影響調査中間報告（第3回）を参考に作成

断熱リフォームの前と後における活動時間の増加量を調査・分析した結果、居間や脱衣所の室温が上昇し、コタツが不要になるなどで、家の中での身体活動時間が30分以上増加（65歳以上の男女共）することがわかりました。

結露の発生を抑えることで
人も住まいも健康に。



住まいの困りごとの代表といえる、窓ガラスやサッシに発生する「結露」。そのまま放置しておくとかびやダニが発生し、アレルギー症状を引き起こす原因に。また、壁体内に結露が発生すると、建物劣化の原因になる可能性があります。そんな結露ですが、家全体の断熱性能を高めることで発生を抑えることができます。

結露が発生する室温と湿度の関係



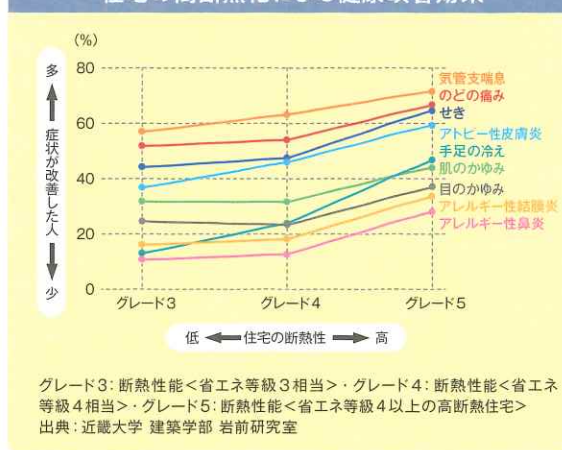
室温と湿度との関係により、室温が下がると、その空気を含むことができる水分の量が少なくなります。さらに室温が下がると空気に含みきれなくなった水分が飽和状態になり、結露(水滴化)してしまいます。

家の断熱性を高めた結果
家族の健康が改善。



冬に室温が下がると、血圧上昇・循環器疾患の恐れや、呼吸器系疾患への抵抗力が低下する可能性があることを先述しました。その逆に、断熱性能を高め、暖かい家で暮らすことによって、健康改善が認められたという研究結果があります。しかも、断熱グレードが高いほど、健康改善の割合が高くなることがわかっています。

住宅の高断熱化による健康改善効果



住まいの高断熱化と健康改善の関係を調査したところ、断熱性の高い住宅に住み替えたことで、気管支喘息やアトピー性皮膚炎など、健康を害する諸症状が改善したという人の割合が増えたということがわかっています。

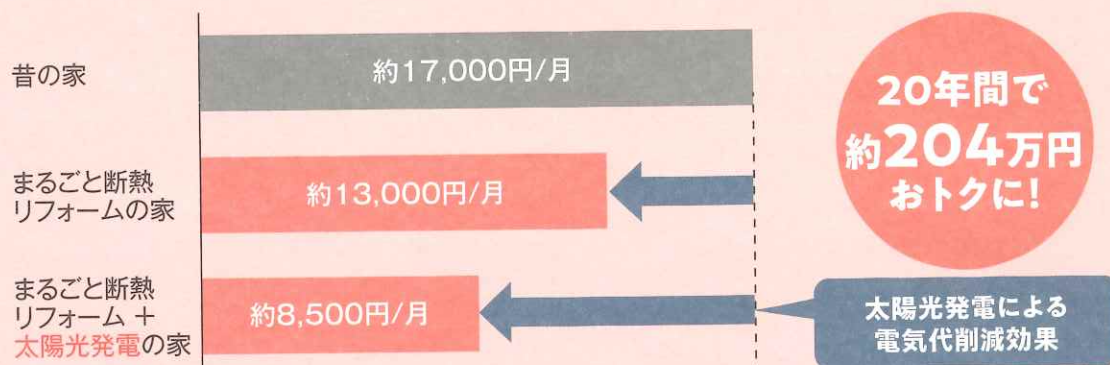
断熱リフォームに

創エネ設備のプラスで 電気代を大幅に削減できます。

まるごと断熱リフォームに加えて、太陽光発電システムを採用することで、
月々の電気代を大幅に削減することが可能に。
断熱性の低い(昭和55年基準)に比べると20年間で180万円もおトクになります。

暮らすほどに大きな差となる
冷暖房のランニングコスト

☑ 昔の家との電気代比較(月平均)



年間一次エネルギー消費量から試算

●住宅プラン:2階建て/延べ床面積120㎡(自立循環型住宅モデルプラン) ●建設地:東京(地域区分6地域)

●電力単価:31円/kWh(税込)(社)全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価より

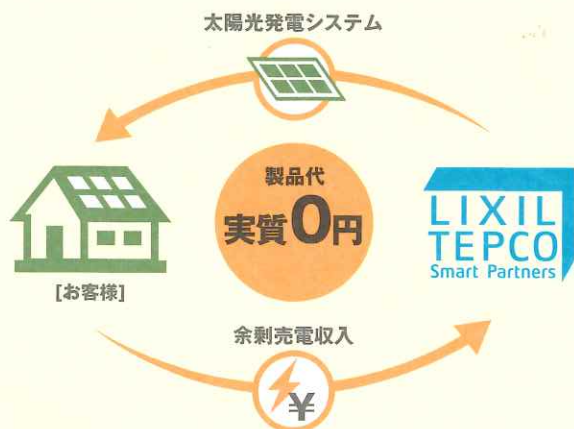
●設備仕様(昔の家):一般的なS55年レベルの戸建て住宅を想定(LIXIL調べ) (まるごと断熱リフォームの家):HEAT20 G2レベルの仕様(+太陽光発電の家):
まるごと断熱リフォームの家に太陽光発電5.1kw搭載 ※水道、ガス料金は別途発生します。



おトクに太陽光発電をつけられるサポートがあります。

建て得リフォームとは？

まると断熱リフォームに加え、さらに省エネ効果を高めたいという方におすすめなのが「建て得リフォーム」です。LIXILの断熱リフォームで指定のLIXIL商品をご採用いただくだけで、太陽光発電システムの製品代がなんと実質0円に。工事費のみで太陽光発電システムを導入・設置できます。さらに発電した電気は0円で使い放題です。



太陽光発電システムの設置費用は
南面・東面・西面に積載可能な最大容量を設置して

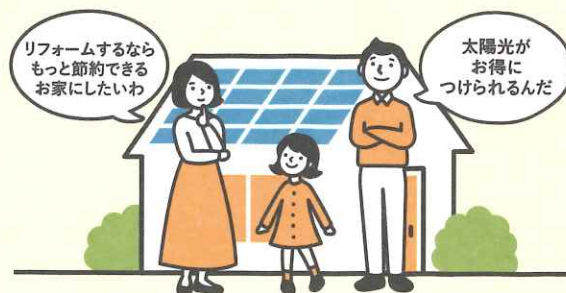
495,000円

均一価格です※

※工事費には事業認定申請等の各種手続きの費用を含みます。

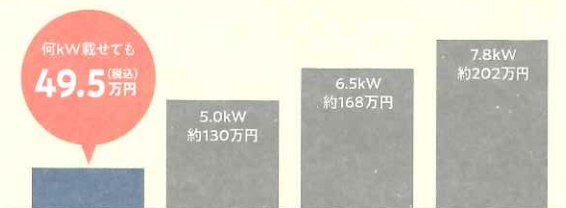
「LIXIL TEPCOスマートパートナーズ」が余剰売電収入を得る代わりに、お客様の太陽光発電システムの製品代の割賦支払い負担を実質的にゼロにします。ご契約期間は15年となります。

※満期までに解約される場合には清算金が発生します。
※別途工事費が有料が必要です。
※設置条件により、別途工事費が必要になる場合がございます。



太陽光パネルを たくさん載せるほどおトク

太陽光パネルの設置容量にかかわらず、工事費は均一です。たくさん載せるほど、おトクになります。



『建て得リフォーム』建築と同時設置される場合(税込25.9万円/kW万円/材工金額)

※建て得リフォームのご利用には、太陽光パネルの搭載容量条件がございます。



詳しくは、LIXIL TEPCOスマートパートナーズまで



株式会社
LIXIL TEPCO スマートパートナーズ



<https://www.lixiltepc0-sp.co.jp>

多くのお客様が

断熱リフォームのメリットを 実感されています。

リフォーム計画時に忘れられがちな断熱リフォームですが、採用された経験者の方たちは、快適・健康・省エネ効果をもたらす、暮らしのメリットを実感されています。

✓ 実感されている、断熱リフォームのメリットとは？

冬を暖かく
過ごせるようになった



74%

夏を涼しく
過ごせるようになった



46%

光熱費が下がった



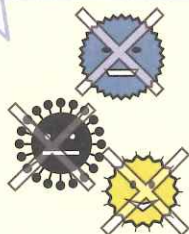
40%

外からの騒音が
気にならなくなった



32%

カビが生えて
こなくなった



18%

睡眠の質が上がった



14%

子供や孫が喜んでくれた



12%

親が喜んでくれた



7%

風邪をひきにくくなった

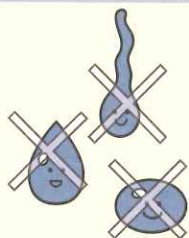


5%

2017リフォーム経験者へのアンケート結果 断熱リフォームのメリットとして感じること(5つまで回答)
出典：健康で快適な暮らしのためのリフォーム読本(発行：暮らし創造研究会 監修：東京大学大学院准教授 前 真之)

☒ いざ、リフォームするときに 忘れがちな断熱のこと

結露がなくなった



39%

生活範囲が広がった

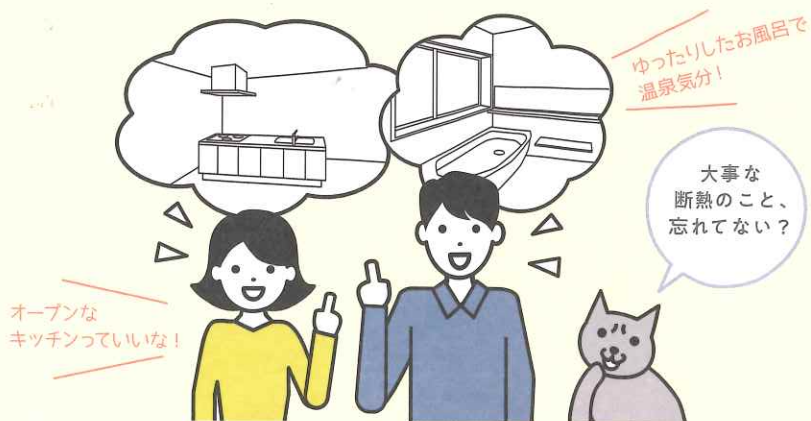


12%

高血圧が改善した



2%



●住まいの困りごとアンケート

リフォーム検討前の人	リフォーム検討段階の人	リフォーム実施後の人
1位 光熱費が高くて不満	浴室の使い勝手や汚れが気になる	光熱費が高くて不満
2位 結露やカビ・ダニが心配	トイレの使い勝手や汚れが気になる	結露やカビ・ダニが心配
3位 冬は寒く、夏は暑い	キッチンの使い勝手や汚れが気になる	冬は寒く、夏は暑い
4位 リビングの収納が足りない	結露やカビ・ダニが心配	耐震性が心配
5位 耐震性が心配	光熱費が高くて不満	リビングの収納が足りない
6位 間取りや部屋の大きさに不満	冬は寒く、夏は暑い	キッチンの使い勝手や汚れが気になる

※2015年3月 LIXIL調べ

住まいの困りごとのトップ3は、リフォームの前も後も「光熱費」「結露」「寒さ・暑さ」。ところがリフォーム検討段階になると「浴室」「トイレ」「キッチン」の使い勝手や汚れが上位に。あとで後悔ないように、断熱リフォームをしっかりと行うことが大切です。

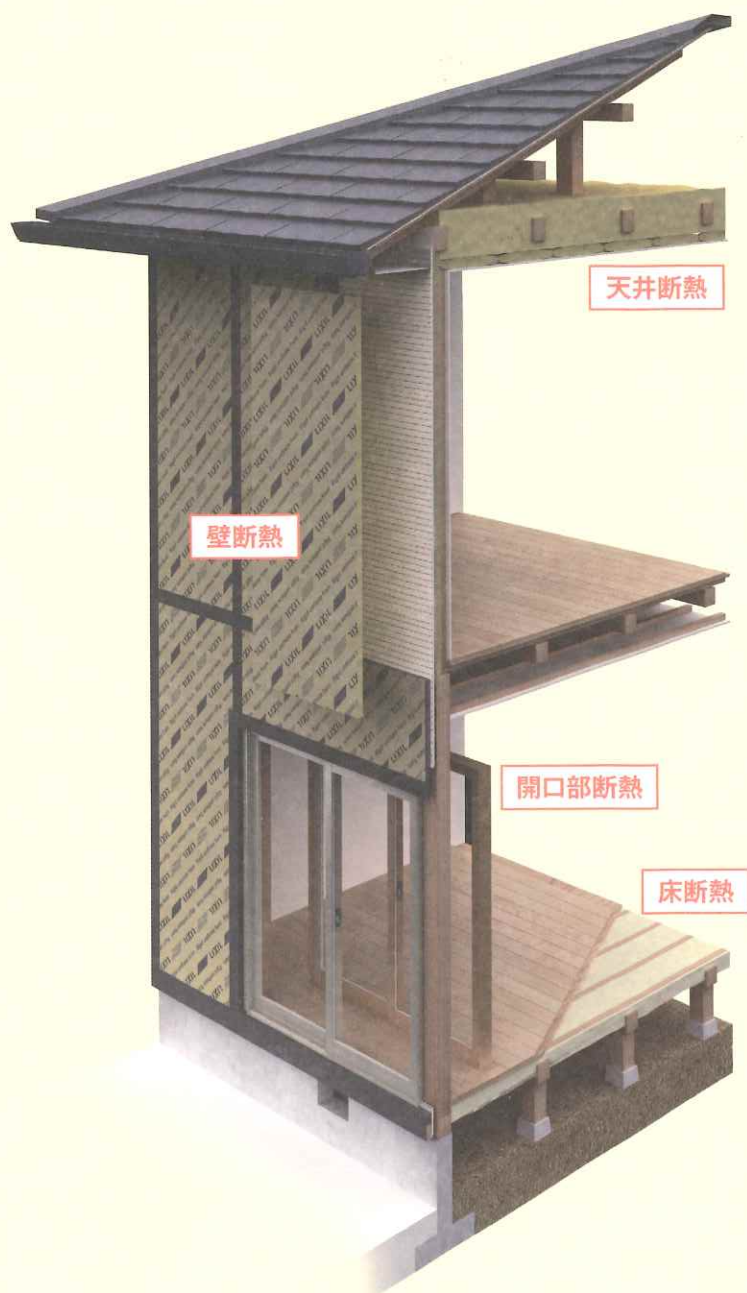
まるごと断熱リフォームは

最高水準の断熱性能を追求しています。

リフォームで、快適・健康・省エネな暮らしが実感できるよう、

最高水準の断熱性能を追求する、まるごと断熱リフォーム。

すぐれた断熱リフォームパネル、天井・床・開口部断熱により、高性能住宅を実現します。



壁
断熱

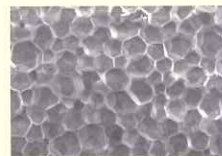
トップレベルの断熱性能 断熱リフォームパネル

断熱材には断熱材区分トップレベルを誇る、硬質ウレタンフォームを使用。外張り断熱によって、断熱リフォームパネルで躯体をすっぽり覆います。



湿気を透しにくい独立気泡構造の 硬質ウレタンフォーム

断熱リフォームパネルは、高性能な硬質ウレタンフォームを使用。湿気を通しにくく、グラスウール(16K)と比べおよそ2.4倍の断熱性能を持ち、HFOガスで満たされた独立した気泡構造により、壁の内部結露を抑えることができます。



●HFOガス：地球温暖化係数が代替フロン₁の1/1000以下で、地球環境にやさしいノンフロンガスです。

断熱材の熱伝導率区分

断熱材区分	熱伝導率 W/mK	断熱材の種類
F	0.019	断熱リフォームパネル(硬質ウレタンフォーム断熱材)
	0.022以下	フェノールフォーム断熱材1種・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種D
E	0.028~0.023	硬質ウレタンフォーム断熱材2種・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種A~C
D	0.034~0.029	現場吹付ウレタン (建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1、2)
C	0.040~0.035	グラスウール断熱材通常品24K(24-38)・ 吹込み用セルロースファイバー(25K相当)
B	0.045~0.041	グラスウール断熱材通常品16K(16-45、16-44)・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材4号
A-2	0.050~0.046	グラスウール断熱材通常品10K(10-50、10-49、10-48)・ 吹込み用ロックウール(25K相当)
A-1	0.052~0.051	吹込み用ロックウール(13K相当)

天井断熱

**吹込み用グラスウールで
小屋裏に断熱材を厚く充填**

リフォームでの天井断熱に最適な吹込み用グラスウールを採用。軽量の断熱材のため、天井への負担が少なく、小屋裏空間にたっぷり厚く充填できます。



床断熱

**吹付け硬質ウレタンフォームで
床下側からしっかり断熱**

床下側から断熱材を施工するため、落ちずに密着する吹付けタイプの硬質ウレタンフォームを採用。床組の隙間まで埋めることができます。



開口部

**今ある窓にプラスする
内窓で断熱性能をアップ**

現在の窓サッシはそのまま、新たに内窓をつけて断熱性能をアップ。内窓のガラス仕様にこだわることで、さらなる高断熱化も行えます。



※リフォームケースに応じて、外窓交換・ガラス交換も可能です。

開口部

**高断熱の玄関ドアに交換
イメージも一新**

既存枠を利用して、新しいドアを枠ごと取付けるカバー工法で、壁や床を傷めることなく、短工期で断熱性能を高めることができます。

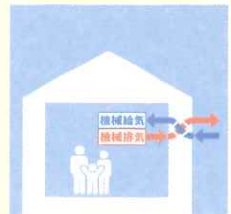


※最新のキーステム等を採用することも可能です。
※周囲をこわして新築用の高断熱玄関ドア・引戸の取付けも可能です。

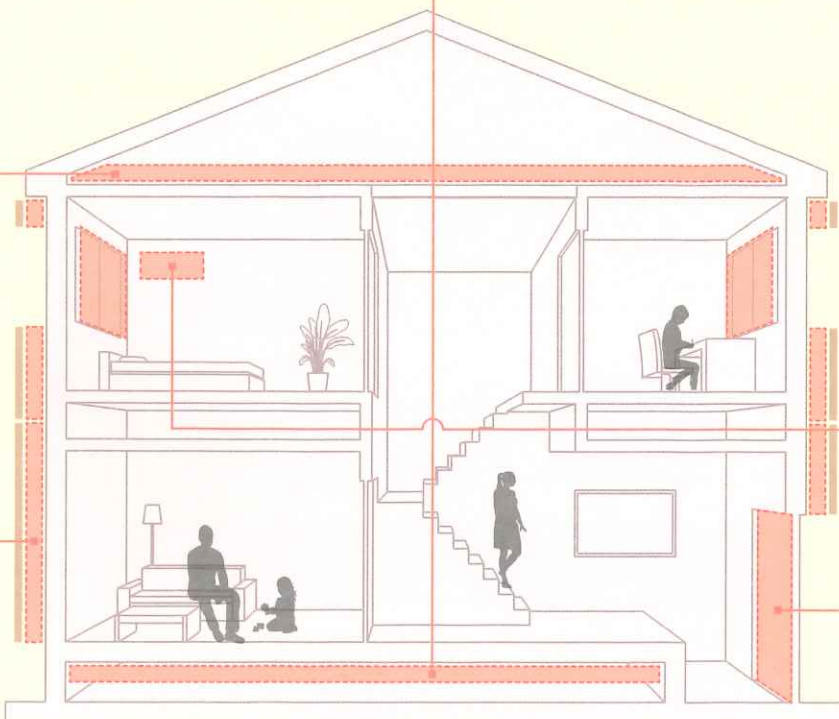
換気

**高性能住宅に欠かせない
計画換気システム**

高性能化された住宅には計画換気が不可欠です。リフォームでの施工に適しているダクトレスタイプの熱交換換気システムを推奨しています。



※第三種換気を用いる場合でも、計画換気は必要となります。



比較してみました！

従来の住宅の断热とは、 ここが違います。



UA値

断热性
(低)

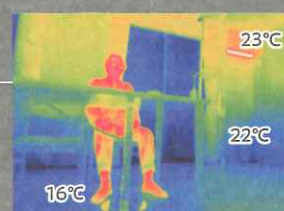
UA値とは？

冬の「家からの熱の逃げやすさ」とお考えください。「逃げやすさ」ですので、数値が小さいほど住宅の保温性能が良いことになります。夏場は、エアコン等の冷気が外に逃げくくなります。魔法瓶のようなイメージです。

まるごと断热リフォーム 前

低い断热性能

寒く、
上下温度差のある住宅



断热性能：昭和55年基準 外気温0℃ 暖房設定温度20℃

チェック！ポイント

- ✓ 壁・天井・床下のグラスウール断热材が薄い
- ✓ 窓のガラスが一枚ガラス
- ✓ すき間からの熱の出入りが多く、断热効果が十分発揮できていない

断热材が少なく
スカスカしてるね



※

1.47
W/mK

断热リフォーム前の住宅

断热診断・調査の結果に
基づいて算定しています。

省エネ基準

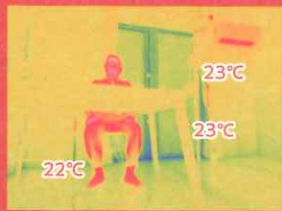
基準

0.87
W/mK

普段見ることのない壁や天井の中、床下を見ることで、断熱材の状況を知ることができ、目に見えない断熱性能の違いが一目瞭然でよくわかります。

断面は代表例であり、住宅の状況により異なります。

まるごと断熱リフォーム 後



断熱性能: HEAT20 G2グレード 外気温0°C 暖房設定温度20°C

高い断熱性能

暖かく、
上下温度差の少ない住宅

チェック! ポイント

- ☑ 壁・天井・床下に断熱材がしっかり充填
- ☑ 窓の複層ガラスで断熱アップ
- ☑ すき間を埋めて気密性を高め、断熱効果が十分発揮できている



すき間なく断熱材が詰まっているね

断熱リフォーム後の住宅

断熱診断・調査の結果に基づいて算定しています。

※
0.49
W/mK

HEAT20 G1

0.56
W/mK

HEAT20 G2

0.46
W/mK

断熱性
(高)

※自立循環型住宅モデルプラン(延べ床面積120.8㎡、建設地 東京)での試算値です。

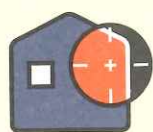


専門家による お住まい診断をしてみませんか？

適切な断熱改修を行うためには、高精度な断熱性能の診断が不可欠です。

また、建物の耐震や劣化の診断も安全・安心な暮らしのために欠かせないポイント。

まるごと断熱リフォームでは、お住まいの各種診断をオプション（有償）にてご提供しています。



壁をこわさず性能を見える化/
お住まい断熱診断

住宅の壁をこわすことなく、最新鋭の診断システムにより「お住まい断熱診断」を実施し、断熱性能と断熱仕様（壁・床・天井・開口部ほか）を確認。改修前後の外皮計算を行い、目標とする断熱性能へ改修するための仕様を選定します。その上で、お施主様にわかりやすく断熱改修のメリットをご説明できる「改修提案書」をLIXILから発行いたします。



診断結果のご提案例

リフォーム前

現在お住まいの住宅の断熱性能を診断結果で確認。
国が定めた断熱性能基準との比較も行えます。

1.47

現在の住宅
…断熱診断・調査の結果に基づいて
算定しています。

断熱性
(低)

省エネ基準

基準

0.87

リフォーム後（目標値）

断熱性能の診断結果をもとに外皮計算を行い、
リフォームによって目標とする断熱性能をご提案します。

0.49

改修後の住宅
…断熱診断・調査の結果に基づいて
算定しています。

断熱性
(高)

HEAT20

G1

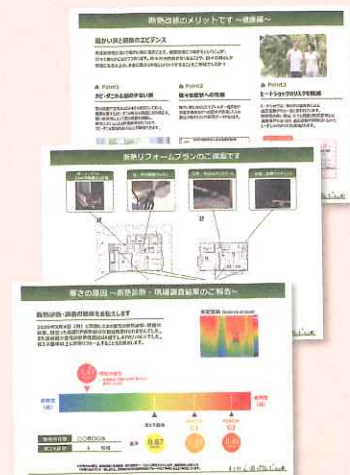
0.56

HEAT20

G2

0.46

改修前後の断熱性能U_a値はあくまで提案用のものであり、必ずしも建築物省エネ法上のU_a値とは完全には一致しません。実際の施工前の提案値であるため、改修後の数値を保証するものではありません。



断熱性能の診断結果をはじめ、断熱改修のポイントや仕様、改修後の断熱性能、メリットなどを提案します。

お住まい断熱診断の流れ

1

現場調査
(床下・天井裏)

2

サーモカメラ
断熱診断

3

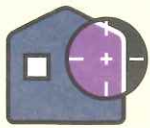
改修前
外皮計算

4

改修後
外皮計算

5

断熱改修提案書
作成



住宅の耐震性能をプロが診断 / お住まい耐震診断

診断結果のご提案例

現地調査

「木造住宅の耐震診断と補強方法」(一社日本建築防災協会)に準拠し調査を実施します。

耐震診断

現場調査結果をもとに、CADで耐震診断を行い、現状の耐震性を評価点で表します。(評価点1.0以上が大地震時に一応倒壊しない目安)

現状
構造評価点: 0.65

評価点	倒壊する可能性が高い	倒壊する可能性がある	一応倒壊しない	倒壊しない
現状	×	△	○	◎

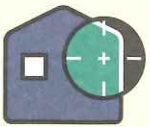
「お住まい耐震診断」では、専門家による現場調査・専用CADによる耐震診断+補強提案を行います。断熱リフォームに取り掛かる前に建物の見えない構造の安全性を確認できます。さらに「お住まい耐震診断報告書」により、お施主様にわかりやすくご説明いただけます。

お住まい耐震診断結果報告書

現場調査結果・耐震診断結果をもとに補強提案を作成し、お施主様にわかりやすいように、報告書としてまとめて提出いたします。

耐震性能向上のための補強・改修等

- 耐力壁の追加
- 接合部の補強
- 梁の追加
- 基礎強化部の補修
- 劣化部の補修
- 屋根仕上材の交換
- 外壁仕上材の交換



建物全体の劣化をプロがチェック / お住まい健康診断

診断結果のご提案例

建物状況調査

国の検査基準による、床下・小屋裏には潜らない調査です。

床下・小屋裏調査

床下・小屋裏に潜って、劣化状況の確認を行う調査です。

総合調査結果報告書

各調査報告から、建物全体の劣化状況のレベルを表示。総合的な診断結果をご報告します。

天井部
2項目
26項目中

調査項目に対して劣化項目数が多い場合、各部位の解体を伴う修繕および建替えが必要になる可能性が高くなります。

リフォームは 全体を把握して計画しましょう。

リフォームによる家づくりでポイントとなるのは、建物の「断熱」「耐震」「劣化」の診断をしっかり行い、断熱・耐震の改修がどの程度必要なのかを、まずは確認すること。改修工事にかかる規模やコストを把握することで、間取りや外内装などの変更など、全体の計画が行いやすくなります。

リフォームの流れの目安

打合せ・準備期間 約4か月

Step1 ご相談／基本合意

ご相談

現地・現在のお住まい
ご確認・ご要望ヒアリング

体感ハウスご見学

基本プラン・概算見積
資金計画のご相談・ご提案
(インスペクションご説明)

技術担当者による事前現場調査

お住まい診断お申込み

Step2 診断結果ご報告／詳細プラン・見積確認

お住まい診断(インスペクション)
[断熱] [耐震] [健康]



壁をこわさず性能を見る化 /
お住まい断熱診断

※ご利用の補助金、
築年数などにより変わります。



住宅の耐震性能をプロが診断 /
お住まい耐震診断

※有料で承ります。
※担当の建築会社
にお問合せください。



建物全体の劣化をプロがチェック /
お住まい健康診断

結果から検討・ご提案

オンライン
ショールーム見学

診断結果ご報告
評価プラン・見積確認

融資事前審査申込み(仮審査)

建築お申込み

リフォーム計画のポイント

戸建て住宅のリフォームを計画する場合、建物の耐用年数は築年数だけでは判断できないため、まずは快適・安全性に関わる目に見えない部分の診断が重要です。その上で、外装や間取り、内装、設備機器などの改修を予算の中でどこまで行うかを検討していくことをおすすめします。

1 建物の「断熱」「耐震」「劣化」の診断

暮らしに大切な住宅の基本性能にしっかり目を向ける

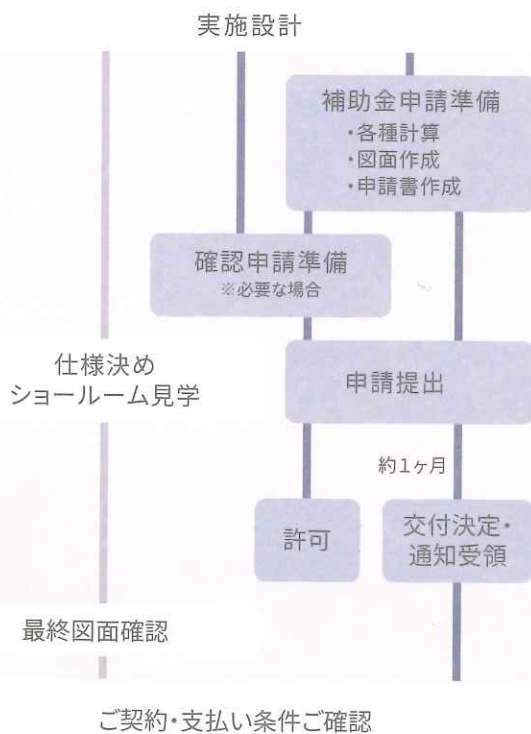
2 構造による「できること」「できないこと」の把握

断熱改修の方法・間取り変更・水まわりの配置などに影響

3 全体予算を把握し、優先順位の検討

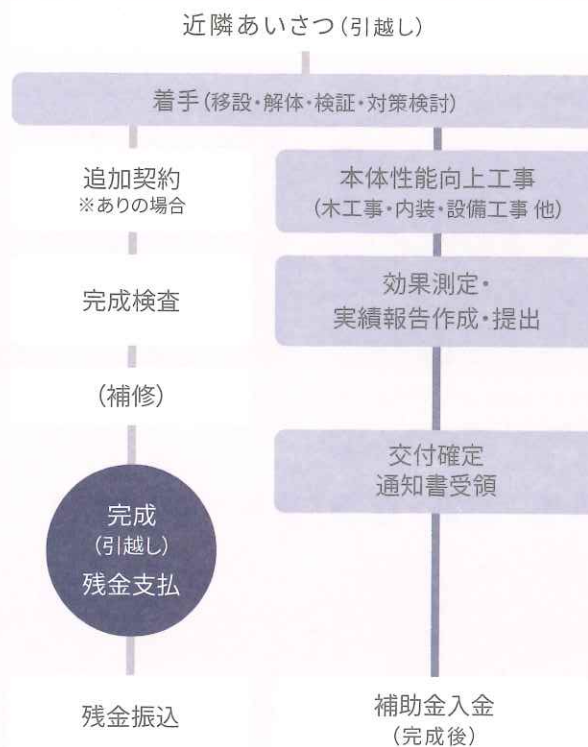
予算の中でどこに重点をおくのか、未来のことも想像する

Step3 着工準備／申請 ご契約



工事期間 約2～4か月

Step4 工事／お引渡し



申請関連

快適・安心・省エネのための トータルなリフォームをご提案。

今ある住宅の高性能化に加えて、住宅の経年劣化の状況やライフスタイルに合わせた、適切なリフォームを組み合わせることで、さらなる快適・安心・省エネな住まいづくりが行えます。

水まわり〈キッチン・浴室・トイレ・洗面〉



もっと料理を楽しみ、暮らしを楽しむ想いをカタチにしたシステムキッチン



湯を愉しみ、時を愛で、人生を豊かに潤すシステムバスルーム



トイレをもっと気持ちのいい空間に、先進の機能を備えたタンクレストイレ



洗面空間をUsefulに、日常を豊かにする機能美を追求したドレッサー

リビング・寝室・居室〈建具・床・収納〉



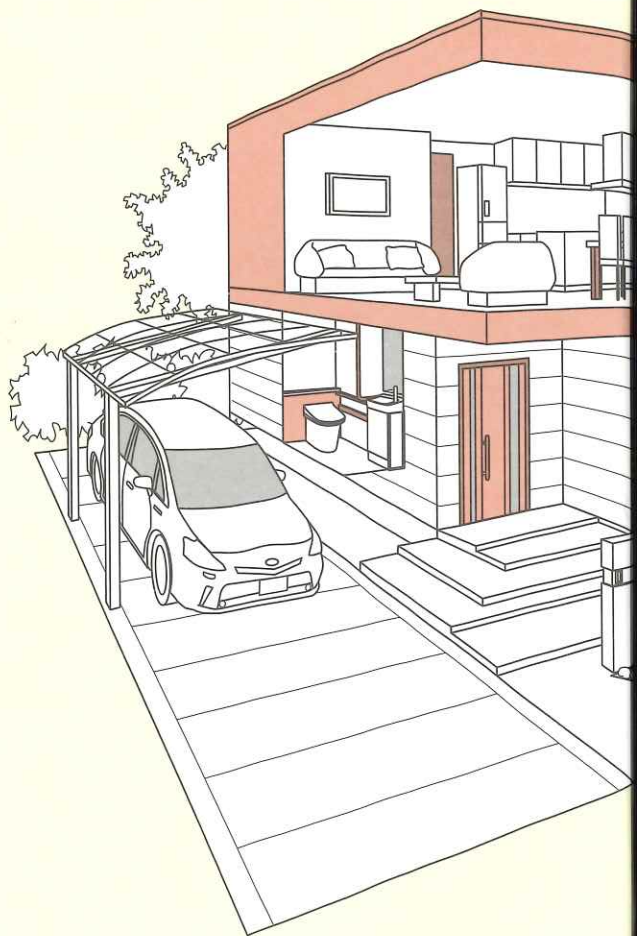
天然木の質感を特殊技法でリアルに再現した、心地よいフローリング



インテリアも私らしく思いどおりの空間に演出する室内ドア・引戸



「みせる」「つかう」「しまう」の3つの収納を提案するリビング収納



窓まわり



既存の窓との間の空気層が断熱効果や遮音効果を生み出す内窓



カンタンな窓の取り替えて、寒さ・暑さの困りごとを解決する高断熱窓

玄関



鍵を携帯しているだけで、施錠も開錠も1アクションの便利な玄関ドア

門まわり・塀・フェンス



不在時の荷物の受け取りに便利、宅配ボックスを備えた機能的な門扉



プライバシーや防犯対策はもちろん、コーディネートにもこだわるフェンス

カーポート



駐車台数や敷地条件に合わせてフレキシブルに対応可能なカーポート

ガーデンスペース



ガーデンと自然に美しく調和し、メンテナンスが簡単なウッド調デッキ

ショールームで実際に確かめてみましょう!



カタログなどの写真だけでは、わからないことが多いのでは? 実際の商品に触れて、色や質感を体感できます。サイズや使い勝手が分かるのもショールーム見学ならではの。気になることはなんでもご相談ください。

オンラインショールームもお気軽に



ご自宅から相談できるので、ご都合に合わせて利用しやすく、商品の詳細や住まいづくりについて気軽に相談いただけます。

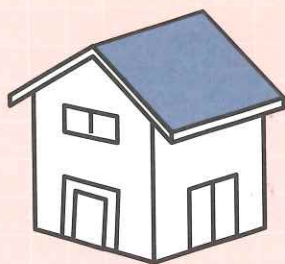
ショールーム・オンラインショールームの詳細は



Q & A よくあるご質問

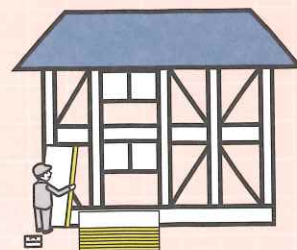
Q どのような家でも採用できますか？

A 木造住宅に限ります。蟻害や腐朽などにより構造材が劣化しているケースや、耐震性が不十分なケースもあります。事前の建物状況調査により、現在の建物の状態をしっかりと確認し、建物にあった方法でリフォームする必要があります。詳しくは、担当の建築会社様にお問い合わせください。



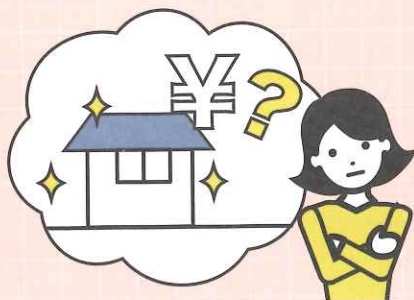
Q 工事期間はどれくらいですか？

A 建物の大きさやリフォーム工事の内容等により工事期間は異なります。モデルケースで、断熱リフォームと合わせて間取り変更や内装、設備などを一新する場合は3～5か月程度になります。詳しくは、担当の建築会社様にお問い合わせください。



Q 費用はいくらぐらい掛かりますか？

A 建物の状態やリフォーム工事の内容により費用は異なります。詳しくは、担当の建築会社様にお問い合わせください。



Q どこに依頼すればいいですか？

A まるごと断熱リフォームは、取り扱いにあたり登録店制度をとっております。工事を依頼される建築会社様が、登録されているかご確認ください。

お近くの登録店様をご紹介することもできますので、詳しくは、LIXILまでお問い合わせください。



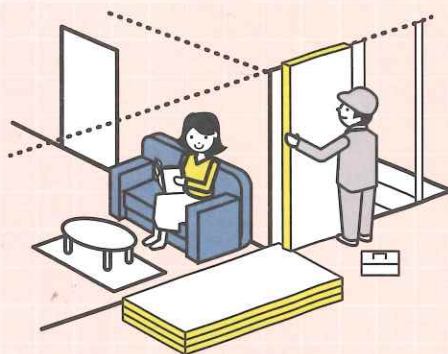
Q 何か補助金制度は ありませんか？

A 地球温暖化対策として国や自治体も断熱リフォームを推進しており、各種補助金制度があります。制度によって募集期間や条件が異なりますので、担当の建築会社様にご相談ください。



Q 住まいながら 工事ができますか？

A 建物の状態やリフォーム工事内容によって異なりますので、担当の建築会社様にご相談ください。



Q やっぱり建替えの方が 快適なおうちになりますか？

A 「まるごと断熱リフォーム」なら、今 お住まいの住宅を高性能な新築住宅並みに快適な住宅にすることができます。詳しくは、担当の建築会社様にご相談ください。



Q 建物の一部を 断熱リフォームすることも できますか？

A 「まるごと断熱リフォーム」では、建物の一部を断熱リフォームすることはできませんが、建物の一部を断熱リフォームする方法もありますので、詳しくは、担当の建築会社様にご相談ください。

